

製品安全データシート

制定：2007 年 04 月 04 日
改訂：2016 年 03 月 31 日
最終確認日：2025 年 03 月 21 日

1. 化学物質等及び会社情報	
製品名	万能ハンダ RZ-106 (ハンダ部分)
会社名	新富士バーナー株式会社 担当部門：営業部
住 所	愛知県豊川市御津町御幸浜一号地 1 番地 3
電話番号	0533-75-5000
F A X 番号	0533-75-5033
メールアドレス	info@shinfuji.co.jp
2. 組成・成分情報	
単一製品、混合物の区分	混合物
物質名	はんだ合金
化学式	P b - S n
含有量	錫 50.0% 鉛 50.0%
官報公示整理番号	情報なし
C A S No.	錫 7440-31-5 鉛 7439-92-1
3. 危険・有毒性の分類	
G H S 分類	   (危険) (警告)
分類の名称	有害物質 (鉛合金)
危険性	不燃性 錫：長期又は反復ばく露による肺の障害を起こすと言 いう情報あり。 鉛：融点以上高温で毒性のあるヒュームを発生する。 遺伝子疾患のおそれの疑い、発がんのおそれの疑い、 生殖能又は胎児への悪影響のおそれあり。 長期又は反復ばく露による造血系、腎臓、中枢神経 系、末梢神経系、心血管系、免疫系の障害

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性物質	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入・ガス）	分類できない
	急性毒性（吸入・蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入・粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入・ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2（P b）
	発がん性	区分2（P b）
	生殖毒性	区分1 A（P b）
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（造血系、 腎臓、中枢神経系、 末梢神経系、 心血管系、免疫系）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性・慢性有害性	分類できない

4. 応急処置	
皮膚に触れた場合	多量の水と石鹼でよく洗う。
目に入った場合	直ちに流水で十分に洗眼し、医師の手当てを受ける。 眼を擦ったり、固く閉じないこと。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のところへ移し、安静にする。
作業後	爪ブラシ、石鹼を使用する。 うがい液を使用する。 作業衣を清潔にする。
予想される急性症状 および遅発性症状	胃痙攣、し眠、頭痛、吐き気、嘔吐、脱力感、喘鳴、蒼白、 ヘモグロビン尿症、虚脱
5. 火災時の措置	
消火剤	火災の種類に応じた適切な消火剤を使用できる（水系除く）。 但し、はんだが溶融している場合には注水禁止。
消火を行う者の保護	火災によっては刺激性、毒性のヒューム、ガスを発生するお それがある為、蒸気には注意（呼吸用保護具着用）。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意	回収作業は風上から行い、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク などを着用する。
環境に対する注意	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 溶融状態で漏出した際は、漏出したはんだが接している電気 製品の電源を断ち、はんだが固まった後に除去する。 除去後、必ず電気製品がショートしていないかを確認する。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	手袋、防塵マスクを着用する。
注意事項	屋外又は換気のよい場所で使用すること。 屋内の場合、適切な排気装置を設けること。 水分がついたはんだを溶融する際は爆発的に飛散するため、 注意すること。 吸入又は飲み込まないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	湿気の多い場所を避ける。

8. 暴露防止処置	
許容濃度	ACGIH TWA 2005年度 錫 2.0 mg/m ³ 鉛 0.05 mg/m ³ 日本産業衛生学会勧告値 鉛 0.1 mg/m ³
設備対策	屋内作業場において、自然換気が不十分な場合におけるはんだ付け作業を行う場合には、局所排気装置又は全体換気装置を設置する。
保護具	呼吸器：防塵マスク又は煙気用マスク 手：保護手袋 眼：保護（ゴーグル型）眼鏡
9. 物理・化学的性質	
外観	銀色
比重	9.33
融点	液相線 約216℃、固相線 約183℃
臭気	なし
10. 安定性及び反応性	
安定性	常温では安定
反応性	金属のため、強酸・強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	高温条件、強酸・強酸化剤との接触、
危険有害な分解生成物	燃焼の際は有毒なヒュームやガスを放出することがある（鉛）。
11. 有害性情報	
急性毒性	情報なし
皮膚腐食性・毒性	情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	蒸気を吸引すると眼・鼻を刺激し、金属熱を起こす事がある。
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	鉛そのものに染色体異常/小核誘発作用があるとの記述がある。
特定標的臓器（単回暴露）	情報なし
特定標的臓器（反復暴露）	錫：肺に障害のおそれ 鉛：標的臓器は造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系及び免疫系と考えられる。

発ガン性	鉛：発ガンのおそれの疑い
変異原性	情報なし
生殖毒性	鉛そのものに染色体異常/小核誘発作用があるとの記述がある。
吸引性呼吸器有害性	大量に飲み込んだり、蒸気や粉じんが口中の吸液に溶けたり、汚れた手のままでの飲食によって摂取されると、鉛中毒（便秘、疝痛、関節痛、麻痺や歯茎の線状変色）になる可能性がある。
1 2. 環境影響情報	
移動性	知見なし
残留性	知見なし
分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし
生体毒性	知見なし
水生環境急性（慢性）有害性	情報なし
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理をする。
包装	関連法規ならびに地方自治体に従い、適切な処分を行う。
1 4. 輸送上の注意	
海洋汚染物質	非該当
安全対策	運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を必ず行う。
1 5. 適用法令	
労働安全衛生法	鉛中毒予防規則 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (施行令第 18 条の 2 別表第 9) すず及びその化合物 鉛及びその無機加工物
大気汚染防止法	(令 1 条) 有害物質 (鉛及びその化合物)
水質汚濁防止法	(令 2 条) 有害物質 (鉛及びその化合物)
土壤汚染対策法	(令 1 条) 有害物質 (鉛及びその化合物)
下水道法	(施行令 9 条の 4) 鉛及びその化合物
P R T R 法	鉛化合物 (特定第 1 種 政令番号 305)

16. その他	
参考文献	15509の化学商品（化学工業日報社） 中央労働災害防止協会安全衛生情報センター 化学物質情報 経済産業省 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS） この情報は改訂日時点の情報を元に作成いたしました。 正確を期していますが、保証するものではありません。 個々の使用に対する使用条件や製品の適正な注意喚起や安全 な取り扱いを行って下さい。

安全データ・シート

1. 製造者情報

新富士バーナー株式会社
愛知県豊川市御津町御幸浜一号地 1 番地 3
TEL:0533-75-5000 FAX:0533-75-5033
担当部門：営業部

作成日 平成 9 年 3 月 4 日
改正日 別紙
最終確認日 令和 7 年 3 月 21 日

2. 製品名 (化学名、商品名) : 万能ハンダ RZ-106 (フラックス部分)

3. 物質の特定

単一製品 混合物の区分	混 合 物		
化学名	グリセリン 88.0%	臭化水素酸 12.0%	—
化学式(構造式)	OHCH ₂ CH(OH)CH ₂ OH	HBr	—
化審法番号	2-0242	1-105	
安衛法番号	知見なし	知見なし	—
CAS. No.	56-81-5	10035-10-6	-
P R T R 法 (第一種指定化学物質) ホウ素 : — % フッ素 : — %			

4. 危険有害性の要約

GHS 分類無機化学薬品のフッ化物に準ずる。
物理化学的危険性： 火薬類

	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外

酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類対象外
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 B
呼吸感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単開ばく露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
環境に対する有害性水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

GHS ラベル要素：

絵表示又はシンボル：無し

注意喚起後：警告

危険有害性情報：軽度の皮膚刺激、目刺激

注意書き： 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露をさけること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
 屋外又は喚起の良い区域でのみ使用すること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 汚染された作業衣を作業現場から出さないこと。

【救急対策】

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ
 を着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣服をすべて脱ぐこと、
 取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 汚染された保護衣再使用する場合には洗濯すること。

【廃棄】

内容物や容器を、（国際/国/都道府県/市町村の規制に従って）廃棄すること。

5. 応急処置
- 眼に入った場合： 直ちに大量の水で15分間以上洗浄し、専門医師の手当を受ける
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服を脱ぎ多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合： 鼻をかんで、うがいをする。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗わせる。可能であれば吐き出させる。

6. 火災時の措置
- 消化方法： 初期の火災には水の噴霧、炭酸ガス、ドライケミカルなどの消火器を用いる。大規模火災の際には泡消化剤などで空気を遮断することが有効である。燃焼すると炭素酸化物が発生する。
- 元来フラックスは火気と共存するものであるから作業現場には消化剤や保護具を準備して置く方が望ましい。

7. 漏出時の措置
- ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消化機材を準備する。
- 作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。
- 少量の場合は空容器にできるだけ回収し、そのあと水で洗い流す。
- 多量の場合は盛り土で囲って流出を防止し、砂などに吸収させて密封容器に回収する。

8. 取扱い及び保管上の注意
- ： ろう付作業で本品を使用する際に、フラックスが燃焼し熱分解あるいは蒸発して有臭且つ有毒なガスを発生し、目鼻などを刺激することがあるので作業中は換気の十分留意し、できれば簡易なマスク等を着用して作業者の目、鼻、気管等を保護する。
- 作業終了後は、速やかに洗面、うがい等を行いフラックスによる汚染を洗い流す。

保管： 冷暗所に密封して保管し、高温物に近づけない。

9. 暴露防止措置
- 管理濃度： —
- 許容濃度： 10 mg/m³（グリセリンミストとして）
- 設備対策： 排気設備のある所で、換気をしながら取り扱う。
- 保護具：
- 保護眼鏡： 着用（ゴーグル型等）
 - 保護手袋： 着用（ゴム手袋等）
 - 保護長靴： 着用（ゴム長靴等）

保護衣 : 着用
その他 : 防塵マスク

10. 物理／化学的性質 外観等 : 無色または淡褐色の液体

液性 : —
沸点 : 290℃
融点 : —
比重 : 1.25
溶解度 : 水20℃

11. 危険性情報 引火点 : 345℃

発火点 : 429℃
可燃性 : 引火性液体
発火性 : 自然発火性、水との反応性、なし
酸化性 : 特になし
自己反応性 : 水20℃
爆発性 : なし
安定性、反応性 : 常温、常圧で安定

12. 有害性情報 皮膚腐食性 : 皮膚組織を腐食する。
刺激性 : 眼、皮膚、粘膜を刺激する。
急性毒性 : 知見なし

13. 環境影響 分解性 : 易生分解性あり
蓄積性 : 殆どなし

14. 廃棄上の注意 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性のある液体に関する一般的な注意事項による。
低濃度排水は活性汚泥などで処理する。

15. 輸送上の注意 陸上輸送 : 消防法危険物に該当
海上及び航空輸送 : 非危険物
その他 : 引火性液体「火気厳禁」

16. 適用法令 消防法危険物 : 第4類第3石油類（指定数量4,000L）
毒劇物法 : 非該当
安全衛生法 : 知見なし

17. その他

調査文献

： 食品添加物公定書解説

注意

： 危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意願います。この情報は新しい知見または試験などにより改正される事があります。

安全データ・シート改訂履歴

訂番	年 月 日	改訂の項目	改訂内容	作成者/訂正者
1	平成9年3月4日		新規作成	大高
2	平成19年1月31日		新規作成	岩崎
3	平成25年6月28日	G H S 対応	G H S 対応による危険有害性の要約追加	岩崎
4	平成29年6月12日	配合量	臭化水素酸の配合：8.3%⇒12.0%に増量	岩崎
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				